

令和元年度 豊前市決算報告

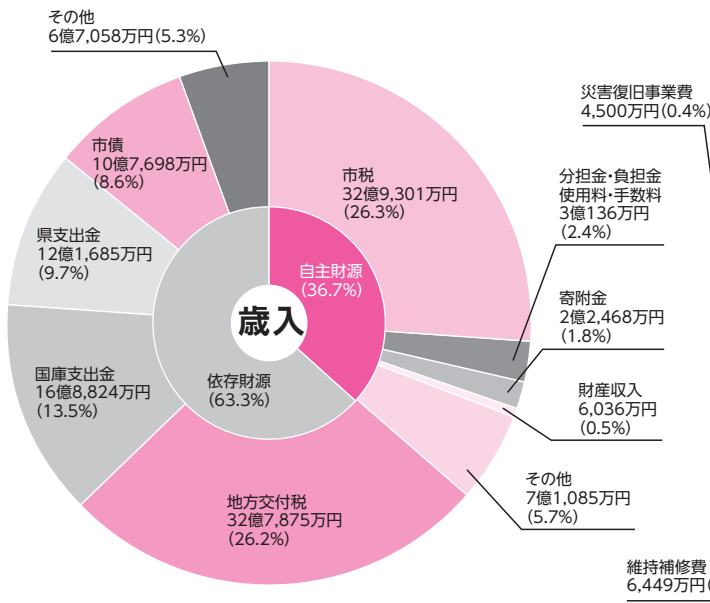


■一般会計歳入歳出決算

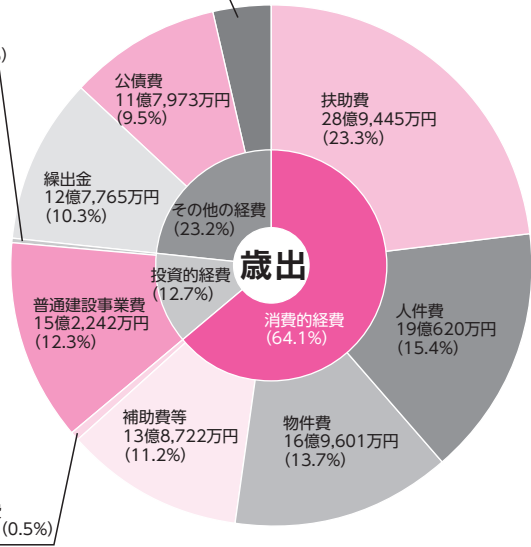
令和元年度の一般会計決算は、歳入125億2,166万円、歳出123億9,210万円で、歳入から歳出を差し引いた形式収支は1億2,956万円となりました。この額から翌年度に繰り越した事業の財源381万円を差し引いた実質収支は1億2,575万円の黒字となりました。

歳入 125億2,166万円

歳出 123億9,210万円



性質別歳出分類



市税の内訳

区分	令和元年度	前年度	増減
個人市民税	9億8,831万円	9億9,694万円	△862万円
法人市民税	2億4,965万円	2億9,034万円	△4,070万円
固定資産税	17億8,232万円	17億8,204万円	28万円
軽自動車税	9,141万円	8,906万円	236万円
たばこ税	1億8,131万円	1億8,356万円	△225万円
合計	32億9,301万円	33億4,194万円	△4,893万円

目的別歳出分類	
議会費 1億3,851万円	総務費 17億9,822万円
民生費 46億5,833万円	衛生費 10億4,781万円
労働費 2,620万円	農林水産業費 7億1,883万円
商工費 2億925万円	土木費 8億1,464万円
消防費 7億9,859万円	教育費 9億5,699万円
災害復旧費 4,500万円	公債費 11億7,973万円

主な事業

・庁舎耐震改修事業 (実施設計)	4,118 万円
・し尿等前処理施設整備事業	2 億 0,944 万円
・八屋漁港改修事業	2,002 万円
・道路新設改良事業	8,760 万円
・急傾斜地崩壊対策事業	2,568 万円
・上町～沓川池線街路事業	6,282 万円
・防災行政無線整備事業	3 億 6,943 万円
・小中学校ブロック塀改修工事	805 万円
・八屋中学校トイレ改修工事	6,633 万円
・史跡求菩提山災害復旧費	3,376 万円



■特別会計歳入歳出決算

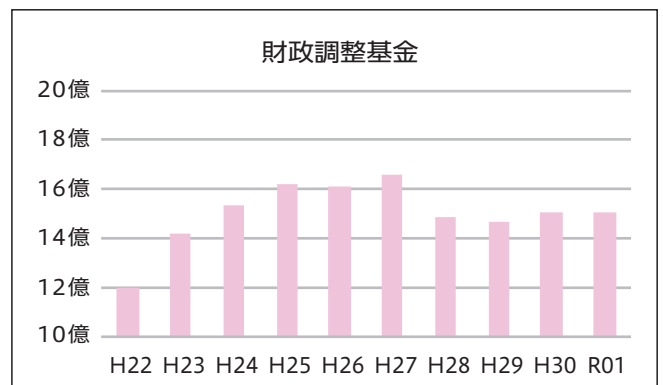
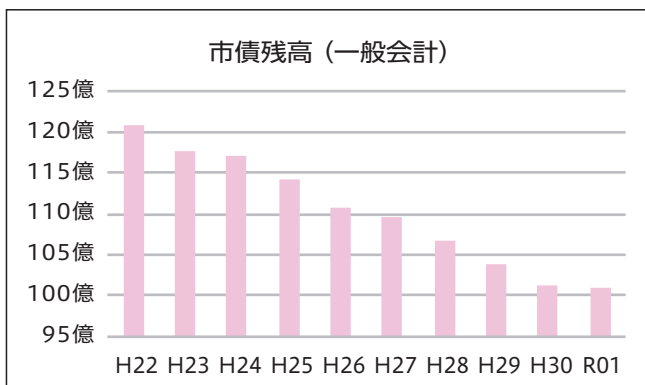
会計	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険事業	31億5,664万円	31億2,056万円	3,608万円
後期高齢者医療事業	4億7,609万円	4億5,890万円	1,719万円
住宅新築資金等貸付事業	1,087万円	1,456万円	△ 369万円
市営駐車場事業	1,584万円	1,571万円	13万円
バス事業	3,653万円	3,653万円	0万円

■市債

区分	前年度末現在高	借入	償還	当年度末現在高	
一般会計	101億2,659万円	10億7,698万円	11億0,039万円	101億0,317万円	
バス事業	3,576万円	0万円	227万円	3,349万円	
公営企業	水道事業	9億5,842万円	6,630万円	6,809万円	9億5,663万円
	公共下水道事業	31億5,989万円	3,800万円	2億2,325万円	29億7,465万円
	東部地区工業用水道事業	5,721万円	0万円	478万円	5,243万円
合計	143億3,787万円	11億8,128万円	13億9,878万円	141億2,037万円	

■基金

区分	前年度末現在高	積立	取崩	当年度末現在高
財政調整基金	15億1,002万円	1億0,101万円	1億0,000万円	15億1,103万円
退職手当基金	1億7,204万円	5,036万円	1億8,998万円	3,241万円
市債管理基金	4億5,508万円	59万円	0万円	4億5,567万円
ふるさと創生基金	270万円	0万円	80万円	190万円
地域福祉基金	5,759万円	8万円	439万円	5,328万円
中山間ふるさと水と土保全基金	1,003万円	1万円	0万円	1,004万円
学校施設整備基金	1億0,266万円	13万円	0万円	1億0,279万円
総合文化施設整備基金	1億6,219万円	13万円	0万円	1億6,232万円
観光開発基金	1,348万円	0万円	0万円	1,348万円
ふるさとづくり応援基金	1億1,940万円	1億2,149万円	1億0,183万円	1億3,907万円
し尿処理施設解体基金	1億8,934万円	5万円	0万円	1億8,939万円
森林環境譲与税基金	0万円	570万円	570万円	0万円
公共施設等整備基金	0万円	1億0,000万円	0万円	1億0,000万円
合計	27億9,452万円	3億7,955万円	4億0,270万円	27億7,137万円



※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。



■豊前市の財政状況

一般会計の令和元年度決算は、実質収支が1億2,575万円の黒字でしたが、年度中の収支を見る実質単年度収支は1億2,837万円の赤字でした。また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、前年度から0.5ポイント悪化して99.2%となり財政の硬直化がさらに進んでいます。

市債(借金)については、将来世代へ負担を先送りしないために償還額以上の借入れを行わないという方針のもと着実に残高を減らしています。令和元年度は、し尿等前処理施設整備事業や防災行政無線整備事業などの財源として借りました。

基金(貯金)については、災害等の突発的な支出に備えるための財政調整基金を維持しつつ、将来確実に発生する支出に備えて特定の目的に使用するための基金に計画的な積み立てを行いました。令和元年度の財政調整基金は、前年度とほぼ同額を維持しています。

■健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算定した健全化判断比率をお知らせします。

令和元年度は全ての指標が、国が定めた財政の健全化を示す「早期健全化基準」の範囲内でした。

指標	令和元年度	前年度	早期健全化基準	説明
実質赤字比率	—	—	14.10%	一般会計等の赤字額が、標準的な収入(標準財政規模)に占める割合。黒字の場合は「-」表記。
連結実質赤字比率	—	—	19.10%	全会計の赤字額が、標準財政規模に占める割合。黒字の場合は「-」表記。
実質公債費比率	10.2%	10.4%	25.0%	借入金の返済額が標準財政規模に占める割合で、全会計に一部事務組合、広域連合まで含めます。
将来負担比率	50.4%	57.2%	350.0%	借入金の返済や退職金等の将来負担することが見込まれる額が標準財政規模に占める割合で、土地開発公社や第三セクターまで含めます。

■資金不足比率

公営企業の資金の不足額が、事業の規模に対してどの程度あるかを示す資金不足比率をお知らせします。

令和元年度は全ての公営企業において資金不足額がありませんでしたので「-」表記となっています。

会計	令和元年度	前年度	経営健全化基準
豊前市工業用地造成事業特別会計	—	—	20.0%
豊前市水道事業会計	—	—	20.0%
豊前市公共下水道事業会計	—	—	20.0%
豊前市東部地区工業用水道事業会計	—	—	20.0%

■行財政改革推進プランの取り組みによる財政効果

現在取り組んでいる第3次行財政改革推進プランは平成28年度から令和2年度までの5年間の計画です。令和元年度の財政効果額は4億268万円で、平成28年度からの累計額は13億7,252万円でした。(令和2年度までの目標額8億3,352万円に対する達成率164.7%)

財政効果の主なものは、ふるさと納税の拡大による財源の確保、業務の民間委託等による人件費の削減、補助金の整理合理化などです。今後も引き続き住民サービスの質を維持しつつ財政の健全化を図るため、市民の皆様のご理解をいただきながら事業の見直し等の行財政改革に取り組んでまいります。

■補助金の公表について

令和元年度中に各団体へ交付した補助金の一覧を財務課財政係にて公表しています。



令和元年度 公営企業の決算報告

1. 水道事業

給水戸数7,547戸、給水人口18,128人となり、前年度に比べ給水戸数は57戸減、給水人口は119人増加しています。年間総有収水量については1,841,119㎡となり、前年度に比べ188,129㎡の増加となりました。収益的収支については、総収入は5億3,469万円、総費用は5億2,949万円となり、520万円の純利益となりました。

施設整備では新たな配水管を布設した整備事業および老朽管更新工事や下水道関連の水道管布設替などの改良事業を行いました。

給水人口と給水量

給水人口 (人)	年間有収水量 (㎡)	1人1日平均給水量 (ℓ)
18,128	1,841,119	278

損益計算書 (平成31年4月1日 から 令和2年3月31日)

費用		収益	
営業費用	5億1,094万円	営業収益	4億3,603万円
営業外費用	1,855万円	営業外収益	9,866万円
特別損失	0	特別利益	0
合計	5億2,949万円	合計	5億3,469万円
当年度純利益	520万円		

2. 公共下水道事業

水洗化人口は8,096人で26人の増加、水洗化戸数は3,965戸で62戸の増加、年間有収水量は1,005,348㎡で199,472㎡の増加となりました。

収益的収支については総収入4億6,422万円、総費用4億8,228万円となり1,806万円の純損失となりました。

施設整備では主に能徳工業団地での汚水管の建設工事や機械設備工事などを行いました。

水洗化人口と処理水量

水洗化人口 (人)	年間有収水量 (㎡)	1人1日平均処理水量 (ℓ)
8,096	1,005,348	340

損益計算書 (平成31年4月1日 から 令和2年3月31日)

費用		収益	
営業費用	4億2,171万円	営業収益	1億9,249万円
営業外費用	6,057万円	営業外収益	2億7,173万円
特別損失	0	特別利益	0
合計	4億8,228万円	合計	4億6,422万円
		当年度純損失	1,806万円

3. 工業用水道事業

豊前東部工業団地内の企業1社に工業用水を供給しました。事業としては、総配水量251,000㎡、年間有収水量249,578㎡、有収率99.4%となっています。

収益的収支については、総収入1,956万円、総費用1,918万円となり38万円の純利益となりました。

損益計算書 (平成31年4月1日 から 令和2年3月31日)

費用		収益	
営業費用	1,824万円	営業収益	1,123万円
営業外費用	94万円	営業外収益	833万円
特別損失		特別利益	
合計	1,918万円	合計	1,956万円
当年度純利益	38万円		

貸借対照表 (令和2年3月31日)

資産		負債	
固定資産	34億2,828万円	固定負債	10億1,827万円
有形固定資産	34億2,828万円	企業債	8億9,073万円
流動資産	2億6,673万円	他会計借入金	1億円
現金預金	2億1,990万円	引当金	2,754万円
未収金	4,511万円	流動負債	1億1,868万円
貯蔵品	172万円	企業債	6,590万円
		未払金	3,190万円
		引当金	179万円
		前受金	32万円
		預り金	1,877万円
		繰延収益	16億556万円
		長期前受金	30億5,642万円
		収益化累計額	△14億5,086万円
		資本	
		資本金	9億2,540万円
		自己資本金	9億2,540万円
		剰余金	2,710万円
資産合計	36億9,501万円	負債資本合計	36億9,501万円

貸借対照表 (令和2年3月31日)

資産		負債	
固定資産	88億4,161万円	固定負債	27億5,730万円
有形固定資産	88億4,161万円	企業債	27億4,026万円
流動資産	4億5,581万円	引当金	1,704万円
現金預金	3億8,211万円	流動負債	2億5,835万円
未収金	7,370万円	企業債	2億3,438万円
		未払金	1,873万円
		引当金	350万円
		前受金	123万円
		預り金	51万円
		繰延収益	8億3,068万円
		長期前受金	9億6,747万円
		収益化累計額	△1億3,679万円
		資本	
		資本金	60億8,917万円
		自己資本金	60億8,917万円
		剰余金	△6億3,808万円
資産合計	92億9,742万円	負債資本合計	92億9,742万円

貸借対照表 (令和2年3月31日)

資産		負債	
固定資産	1億5,459万円	固定負債	4,878万円
有形固定資産	1億5,459万円	企業債	4,758万円
流動資産	9,088万円	引当金	120万円
現金預金	9,088万円	流動負債	637万円
		企業債	485万円
		未払金	54万円
		引当金	48万円
		預り金	50万円
		繰延収益	1億2,318万円
		長期前受金	3億5,128万円
		収益化累計額	△2億2,810万円
		資本	
		資本金	4,887万円
		自己資本金	4,887万円
		剰余金	1,827万円
資産合計	2億4,547万円	負債資本合計	2億4,547万円

